

札幌市政概要

令和5年版

札幌市徽章

札幌市徽章は、明治44年8月に制定された。

外側の六角模様は、6つの花、すなわち雪をもって北海道を象徴し、内側円形模様は札幌の札の字を表わし、さらに○形全体をもって片仮名のロの字を兼ねている。中央の星型は北斗星にちなみ、北方の意を示すとともに片仮名のホの字を形どったものである。

つまり、徽章全体を通じて北海道札幌を表示したものである。



札幌市民憲章

わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です。

元気ではたらき、豊かなまちにしましょう。

空も道路も草木も水も、きれいなまちにしましょう。

きまりをよくまもり、住みよいまちにしましょう。

未来をつくる子どものしあわせなまちにしましょう。

世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。

昭和38年11月3日制定
昭和61年6月6日一部改正

写真で見る 令和5年のさっぽろ



2月4日～11日の期間、3年ぶりに会場を設けて「第73回さっぽろ雪まつり」を開催し、5基の大雪像を中心とした札幌ならではの冬の魅力を、多くの市民と国内外の観光客が楽しみました。



2月3日～12日の期間、北3条広場（アカプラ）に天然氷を使用したスケートリンクを設置し、市民や観光客が気軽にアイススケートを楽しめる「スマイルリンクさっぽろ」を開催しました。



3月20日、札幌市民防災センターがリニューアルオープンし、より実践的で臨場感あふれる施設へと生まれ変わりました。



6月7日～11日の期間、大通公園を中心とした市内13会場にて「第32回YOSAKOIソーラン祭り」を開催し、踊り子たちのダイナミックな演舞で街は熱気に包まれました。
提供：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会



6月23日～25日の期間、北3条広場（アカプラ）をメイン会場として、花びらや自然素材を用いて大きな絵を作り上げる市民参加型のアートイベント「SAPPOROフラワーカーペット2023」を開催しました。



7月12日～8月1日の期間、国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（PMF）2023を開催し、世界中から集まった若手音楽家が平和のハーモニーを奏でました。



南2西3南西地区第一種市街地再開発事業の工事が完了し、「moyuk SAPPORO」として7月20日にグランドオープンしました。



7月22日～8月21日の期間、北海道で昭和62年以来36年ぶりとなる「全国高等学校総合体育大会」が開催され、市内では6会場を舞台に熱戦が繰り広げられました。



8月25日、「第51回全国消防救助技術大会」が開催されました。全国の消防本部から選び抜かれた救助隊員により日頃の訓練で培われた救助技術が披露され、会場では多くの歓声があがりました。



9月8日～9月30日の期間、大通公園にて「2023さっぽろオータムフェスト」を開催し、「北海道・札幌の食」をテーマに道内各地の旬の食材やご当地グルメが一堂に会しました。



世界中からGXに関する資金・人材・情報が集積するアジア・世界の「金融センター」の実現に向けて、6月に産学官金連携のコンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」を設立しました。



今後の「Team Sapporo-Hokkaido」におけるGX事業等の推進のため、11月に欧州を代表する金融センターとしての地位を確立しているルクセンブルクと洋上風力発電の先進地であるデンマークを訪問しました。

